

1. 7 環境配慮行動啓発活動

1. 7. 1 京都大学環境ファクトシート エコ〜 るど京大 2023 報告

エコ〜るど京大は、様々な学部・研究科の学生と教職員の有志が、環境問題や SDGs をテーマに活動するネットワークである。「持続可能なキャンパス（サステナブルキャンパス）」の実現や、SDGs を「自分ごと化・みんなごと化」して考えることを目指しており、大学生や研究者だけでなく、社会人や小中高校生、留学生、さらには地域住民も巻き込みながら、様々な企画を実施している。

2023 年度においては、それ以前の年度の取り組みを継続しつつ、新たな企画も加えて実施してきた。特に、メディア・イベントへの出演がこれまでよりもやや増え、対外的な発信を行うことが多い年度となった。以下では、エコ〜るど京大が今年度行った取り組みを紹介する。

【京大！バイオスクープ】

環境へ関心が向きにくい要因として、自然環境との繋がりが現代社会においては日常生活に対して外部化されていることがある。記事連載を主にした活動である「京大！バイオスクープ」では、日常生活を送る空間において確かに存在する生態系に焦点を当て、出来る限り多くの人から自然環境を日常の内部として感じ取られることを目的とした内容を発信してきた。

2023 年 4 月 5 日に最初の記事である「楠」を投稿して以来、ほぼ毎週一つずつ記事を投稿してきた。各記事は、京大構内で見られる主に一種類の生き物を取り上げ、一般的な図鑑にあるような基本的な情報のみならず、学術的な文献も参照しつつ読者を「へー」と唸らせることを狙ったマニアックな内容を載せている。このようにマニアックな内容を重視して掲載することで、あわよくば読者をその生き物のファンにさせ、読後に身近ながら見過ごしてきた生態系の存在が明らかとなることを期待している。

2023 年 11 月の NF では、京都大学に所属する生物研究者 3 名（沼田英治 人と社会の未来研究院 特定教授 / 今田弓女 理学研究科 生物科学専攻自然史学講座 助教 / 福田将矢 京都大学学術研究展開センター URA）も招き、来客が実際に構内で生き物を探索したり、研究者から生

き物に関する話を聞いたりできる企画を実施した。多くの来客があり、京大構内で様々な生き物を見つけていた。同時に掲示していた当企画の記事の要約も多くの方に熱心に読まれ、記事本文の QR コードをその場で読み取ったり撮影したりしてから帰った人も多くいた。次の投稿が楽しみとの声も複数あった。



NF にて、ヤマカガシ等に就いて解説する福田将矢氏。

【オープンラボ】

2023 年 6 月 1 日～23 日に京都大学西部会館ルネ 1F の京都大学生協同組合ショップルネの一角にて「オープンラボ」を開催した。

「オープンラボ」は、普段の学業では触れる機会ない学術の話題を専門家から直接聞くことのできる機会を、京都大学の学生を対象に提供することを趣旨とするものである。次の日程で計 21 人の研究者にご滞在頂けた（所属は当時のもの）：

6/1（木） 10:30～14:45 宮野公樹 准教授（学際融合教育研究推進センター）

6/2（金） 10:30～18:15 矢野順也 准教授（環境安全保健機構環境管理部門）

6/5 (月) 12:00~14:45 戸田剛文 教授 (大学院人間・環境学研究科)

6/6 (火) 12:00~18:15 真常仁志 准教授 (地球環境学)

6/7 (水) 10:30~18:15 林健太郎 教授 (総合地球環境学研究所)

6/8 (木) 10:30~12:00 原田英典 准教授 (アジア・アフリカ地域研究研究科)

12:00~14:45 陰山洋 iCeMS 連携教授 (工学研究科)

6/9 (金) 12:00~18:15 角山雄一 准教授 (京都大学環境安全保健機構放射線管理部門)

6/12 (月) 13:15~14:45 小野肇 准教授 (農学研究科)

15:00~16:30 佐野宏 教授 (人間・環境学研究科)

6/13 (火) 10:30~18:15 山敷庸亮 教授 (大学院総合生存学館)

6/14 (水) 10:30~13:15 高野俊幸 教授 (農学研究科)

13:15~14:45 菊地暁 助教 (人文科学研究科)

17:00~19:00 柴田昌三 教授 (農学研究科)

6/15 (木) 15:00~18:15 岡真理 教授 (早稲田大学大学院文学研究科)

6/16 (金) 12:00~18:15 高山佳奈子 教授 (法学研究科)

6/20 (火) 10:30~14:45 安田陽 特任教授 (経済学研究科)

10:30~18:15 平井康宏 教授 (京都大学環境安全保健機構環境管理部門)

6/21 (水) 10:30~18:15 本川雅治 教授 (総合博物館)

6/22 (木) 13:15~18:15 磯部洋明 准教授 (京都市立芸術大学美術学部)

6/23 (金) 10:30~16:30 Karel SVADLENKA 准教授 (理学研究科数学教室)

立ち寄る学生数は日によって異なり、特に雨の日には立ち寄る人が少なかったが、複数の学生間で議論が白

熱した日や、研究者が持参した展示物に惹かれて大勢が集った日もあった。また、エコ〜るど京大としての展示物である、プラスチックの妖精「ニョキニョキ」がとりわけ人目に付き、写真を撮っていく人が多かった他、外に展開したフリーマーケットも盛況となった。



オープンラボにて、真常仁志准教授ご滞在時の様子。

【地球環境ユースサミット 2024 in Kyoto】

持続可能な社会を形成する際には、周囲を巻き込み行動できる地域のリーダーが必要である。そのような人材育成を目指して、2022 年度までは中高生向け教育プログラム「京都大学 SDGs リーダー育成プログラム」や「地球環境ユースサミット 2023 in KYOTO」が実施され、運営にエコ〜るど京大も携わってきた。2023 年度は、これらのプログラムが英語による議論を通じた年間プログラム「地球環境ユースサミット 2024 in Kyoto」として発展的に統合し、エコ〜るど京大は引き続き運営として関わった。

「地球環境ユースサミット 2024 in Kyoto」は、2023 年 9 月から 2024 年 8 月までの年間プログラムである。「事前講座」と「本講座」からなり、2023 年度は、2024 年 2 月に始動して世界各国の中高生が複数のグループに分かれて英語で議論を交わして実践へと進行する「本講座」に向けて備える「事前講座」を行い、環境や社会問題に実際に直接取り組んだり研究したりされている企業や研究機関の講師が毎月入れ替わりでオンラインにて登壇した。各回とも、講演後は中高生同士が意見交換するワークを Zoom 上で実施した。

【京北めぐる市】

2023 年度も、エコ〜るど京大のメンバーは、京北地域の「京都里山 SDGs ラボ (ことす)」で毎月開催されている「京北めぐる市」に、スタッフとして参加した。

京都市右京区北部に位置する京北地域は、京都市中心部から車で1時間程度の場所にあり、北山杉の名産地として知られる京都を代表する里山である。この京北地域で、SDGsの社会実装を目指す産学公連携の団体「京都超SDGsコンソーシアム」を中心とした地域づくりが2021年度に本格始動し、エコ〜るど京大は関連学生団体としてこれに参画した。活動の中心となっているのは、元京北第一小学校を活用した「京都里山SDGsラボ（ことす）」という施設である。「ことす」とは、SDGs達成に向けて“ことをおこす”、“ことをなす”という意味を込めてつけられた愛称である。ことすでは、地域の住民・学校・事業者や、企業や個人の利用者が、里山の自然の中のゆとりの空間での快適なビジネス拠点として活用できる場であり、SDGs・持続可能性を達成・実現する中山間地域モデル構築を目指した様々な社会実装を試み、発信する場である。また、汚れたプラスチックは洗って干してから捨てるなど徹底したごみ分別を行う他、生ごみはコンポストやバイオガスプラントで処理をする、アップサイクルによって生まれ変わった商品の製作や見学が出来るなど、SDGsについて学び、実践できる場という役割も果たしている。

ことすで毎月第4土曜日に行われるのが「京北めぐる市」である。エコ〜るど京大のメンバーも、スタッフとして継続的にこのイベントに携わっている。「京北めぐる市」は、「物と想いがめぐるフリーマーケット」であり、京北の地域食材を使った飲食ブースや料理教室、北山杉からマイ箸を作る木工体験・農業体験・森林散策・アユ釣り体験などの自然体験、ごみ拾いなど様々なイベントが一挙に行われている。また、豪華なゲストを招いて、SDGsに関する内容を問う「SDGs 問答」も、オンラインとオンラインのハイブリッド形式で公開収録している。京北めぐる市は来年度も、「ことすオープンデー」と改名し、形を変えながらも継続して行われるため、引き続き協力をしていく予定である。

【メディア・イベントへの出演・出展】

2023年度も、エコ〜るど京大として、メディアへの出演やイベントの出展を多数行った。

●マイナビ学生の窓口 SDGs 特集

<マイナビ学生の窓口>における特集「大学生と考えるSDGs」に、京都大学地球環境学舎浅利美鈴研究室及びエコ〜るど京大による取組が掲載された。

●第1回 CEC シンポジウム 学生×京都×観光「見るだけでなく、学び楽しむ観光へ：学生が考える一魅力ある京都ーとは」の学生ピッチ大会にて Environmental and sustainability Award 受賞

2023年1月13日(土)、京都府庁旧本館旧議場において、第1回 CEC シンポジウム 学生×京都×観光「見るだけでなく、学び楽しむ観光へ：学生が考える一魅力ある京都ーとは」の学生ピッチ大会に出場した。

このピッチ大会は、京都の「学生アンバサダー」が学生・観光の切り口から様々な社会課題を解決する旅のプランを発表するもので、エコ〜るど京大は、京都の名水をめぐり、ゴミ拾いまでも行うツアー「WITH MIZU-旅するマイボトル-」を提案した。結果、Environmental and sustainability Award を受賞した。
(<https://www.youtube.com/live/npkLRquWiiE?si=cM-w2QmCqrDH1aQF>)



第1回 CEC シンポジウム 学生×京都×観光「見るだけでなく、学び楽しむ観光へ：学生が考える一魅力ある京都ーとは」の学生ピッチ大会にてピッチトークの様子。

●『HonNe（ホンネ）』でのマイボトル普及活動の紹介

株式会社 EXIDEA の『HonNe（ホンネ）』にて、京都大学プラ・イド革命の一環で設置したウォーターサーバーの取り組みが紹介された。記事では、ウォーターサーバーを導入している他大学の取組みも一緒に紹介されている。（記事：<https://exidea.co.jp/blog/living/water-server/college/>）

●第2回 BEST SDGs AWARD for University

2024年2月12日（月・祝）、GMO インターネットグループ株式会社第2本社16階 GMO Yours（渋谷）にて行われた、第2回 BEST SDGs AWARD for University の口頭発表に参加し、エコ〜るど京大では京大構内の生き物を紹介している企画の「京大！バイオスクープ」について発表を行い、GMO INTERNET GROUP 賞を受賞した。口頭発表の他にも、特別審査員の The Breakthrough Company GO 代表の三浦崇宏氏、reverages 株式会社の藤本氏と持続可能な社会に関するトークセッションにも参加した。

このリーフレットは、エコ〜るど京大のイベント等の際にも配布されており、新入生のみならず多くの方々にご覧いただくことができた。

●中京区いきいき市民活動センターSDGs 事業

2023年7月9日に中京区いきいき市民活動センターで、親子連れを対象にワークショップ「SDGs 親子クッキング♪ 食品ロス削減を意識した楽ちんクッキング」を行った。食品廃棄問題を周知した上で、過剰除去を極力削減した焼きそば作りの講習を実施し、その焼きそばの美味しさが落ちることが無いことを参加者に確認してもらうことができた。

●新京極ふれあいマルシェ

2023年11月19日には新京極ふれあいマルシェに出展した。新京極ふれあいマルシェは、新京極公園内に多世代の人々が交り合う日常的な風景をつくる基盤の作成、持続可能な運営体制の確立を目的にしたイベントである。エコ〜るど京大では北山杉を利用したお箸作りを行い、多くの来場者に楽しんでもらうことが出来た。

【2023 年度版環境早見表（新入生向けリーフレット）】

環境早見表とは、エコ〜るど京大が作成し、毎年4月に新入生全員に配布しているリーフレットである。環境やSDGsについて新入生が考え、行動するきっかけとしてもらうことを目的としている。

2023 年度版環境早見表では、「くすちゃんのすくすく SDGs ライフ」と称して、大学生各自が普段の大学生活を送る中での何気ない行動として実践できる、SDGs に繋がる内容を12のカテゴリーに分け各カテゴリー毎に3つの項目を取り上げ、掲載した。

他にも、大学でのゴミ分別や学生生活で気軽に実践できる環境配慮型行動、学内で環境に配慮された建物や取り組み、エコ〜るど京大の活動内容も掲載した。なお、

1. 7. 2 エコ宣言ウェブサイトの運用報告

大学構成員の環境配慮行動のきっかけとすることを目的に「京都大学環境エネルギー情報サイト」を2009年度より開設している。近年は参加型企画「エコ〜るど京

大」等を通じたSDGsに関する環境配慮行動啓発にウイングを広げ啓発活動が続けている。2023年度のウェブサイト更新履歴は表1のとおりである。今年度の更新回数は計51回となり、ほぼ毎週更新を行うことができた。

表1 エコ宣言ウェブサイト 令和5の更新履歴（令和6年3月31日現在）

更新日	コンテンツ	記事タイトル / 更新概要
2023.4.5	京大！バイオスクープ	【京大！バイオスクープ file1】4月の木 楠、樟 -クスノキ、クス
2023.4.5	2023年新入生リーフレット	2023年度環境早見表を作成しました
2023.4.5	京北、新入生向け企画	新入生の皆さんへ
2023.4.10	京大！バイオスクープ	【京大！バイオスクープ file2】4月の野鳥 ウグイス
2023.4.16	—	マイナビ学生の窓口 SDGs 特集】に掲載されました
2023.4.17	京大！バイオスクープ	【京大！バイオスクープ file3】4月の野草 イシクラゲ（ネンジュモ）
2023.4.25	京大！バイオスクープ	【京大！バイオスクープ file4】4月の木 ハナミズキ
2023.4.30	京大！バイオスクープ	【京大！バイオスクープ file5】地衣類(Lichen)
2023.5.1	SDGs リーダーズ育成	【お知らせ】2023年度の京都大学SDGs リーダー育成プログラムについて
2023.5.8	京大！バイオスクープ	【京大！バイオスクープ file6】5月の木 藤
2023.5.15	京大！バイオスクープ	【京大！バイオスクープ file7】5月の野鳥 カラス
2023.5.22	京大！バイオスクープ	【京大！バイオスクープ file8】5月の野草 ヤハズエンドウ(カラスノエンドウ)
2023.5.22	初夏の陣	【6/1~6/24】オープンラボを4年ぶりに対面開催します！
2023.5.29	京大！バイオスクープ	【京大！バイオスクープ file9】5月の昆虫 クルミホソガ
2023.6.5	京大！バイオスクープ	【京大！バイオスクープ file10】6月の木 キョウチクトウ
2023.6.12	京大！バイオスクープ	【京大！バイオスクープ file11】6月の野鳥 ツバメ
2023.6.19	京大！バイオスクープ	【京大！バイオスクープ file12】6月の野草 ドクダミ
2023.6.26	京大！バイオスクープ	【京大！バイオスクープ file13】6月の植物 アジサイ
2023.7.3	京大！バイオスクープ	【京大！バイオスクープ file14】7月の木 クチナシ
2023.7.5	イベント報告、報告、初夏の陣	2023年度オープンラボを開催致しました。
2023.7.10	京大！バイオスクープ	【京大！バイオスクープ file15】7月の野鳥 アオバズク
2023.7.17	京大！バイオスクープ	【京大！バイオスクープ file16】7月の野草 ヤブガラシ
2023.7.24	京大！バイオスクープ	【京大！バイオスクープ file17】7月の昆虫 アオスジアゲハ
2023.7.31	京大！バイオスクープ	【京大！バイオスクープ file18】ダンゴムシ
2023.8.7	京大！バイオスクープ	【京大！バイオスクープ file 19】8月の木 コノテガシワ
2023.8.14	京大！バイオスクープ	【京大！バイオスクープ file 20】8月の野鳥 ヒヨドリ

更新日	コンテンツ	記事タイトル / 更新概要
2023.8.21	京大！バイオスクープ	【京大！バイオスクープ file 21】8月の野草 カラムシ
2023.8.28	京大！バイオスクープ	【京大！バイオスクープ file 22】8月の虫 アメンボ
2023.9.4	京大！バイオスクープ	【京大！バイオスクープ file23】実践編 木の名前を調べられるようになるう！
2023.9.13	京大！バイオスクープ	【京大！バイオスクープ file24】9月の野鳥 コサメビタキ
2023.9.21	—	『SDGs ノート』を使ってロンドン補習授業校アクトン校舎と交流授業を実施しました
2023.10.4	京大！バイオスクープ	【京大！バイオスクープ file25】10月の草 ヒガンバナ
2023.10.16	京大！バイオスクープ	【京大！バイオスクープ file 26】10月の爬虫類 クサガメ（前編）
2023.10.24	京大！バイオスクープ	【京大！バイオスクープ file27】10月の野草 エノコログサ（猫じゃらし）
2023.11.9	SDGs リーダーズ育成	【京大！バイオスクープ file 28】11月の木 ケヤキ
2023.11.13	京大！バイオスクープ	【京大！バイオスクープ file 29】11月の野鳥 ジョウビタキ
2023.11.16	京大！バイオスクープ	NF 出展します！「京大！バイオスクープ」
2023.11.22	—	たんすに眠っている着物を寄付していただけませんか？
2023.12.4	京大！バイオスクープ	【京大！バイオスクープ file30】12月の野草 カタバミ
2023.12.12	京大！バイオスクープ	【京大！バイオスクープ file31】12月の木 メタセコイア
2024.1.8	京大！バイオスクープ	【京大！バイオスクープ file32】酵母
2024.1.15	京大！バイオスクープ	【京大！バイオスクープ file 33】1月の木 サザンカ
2024.1.19	—	地球環境ユースサミット 2024 本講座募集開始！
2024.1.21	表彰	学生×京都×観光【第1回C E Cシンポジウム】にて、Environmental and sustainability Award 受賞しました！
2024.1.22	京大！バイオスクープ	【京大！バイオスクープ file 34】1月の野草 ホトケノザ
2024.1.29	京大！バイオスクープ	【京大！バイオスクープ file35】1月の木 ウメ
2024.1.30	京大！バイオスクープ、イベント 報告、報告	NF に出展しました！「京大！バイオスクープ」
2024.2.10	マイボトルダンス、京都大学 ブラ・イド革命	マイボトル普及活動の取組みがメディアで紹介されました！
2024.2.19	京大！バイオスクープ	【京大！バイオスクープ file36】雪
2024.2.26	京都大学ブラ・イド革命	京大生協時計台ショップにて、小型家電を回収しています！
2024.2.28	報告、表彰	【第2回 BEST SDGs AWARD for University】にて、GMO INTERNET GROUP 賞を受賞しました！

1. 7. 3 学内外への情報共有・情報発信

<第 39 回大学等環境安全協議会技術分科会>

開催日時：2023 年 11 月 30 日（木）、12 月 1 日（金）

開催場所：広島大学東広島キャンパス
ならびにオンライン

主催：大学等環境安全協議会

共催：広島大学

参加人数：オンサイト 94 名、オンライン 56 名

当部門からの発表：

矢野順也、向出貴裕、平井康宏（京都大学）：大学の廃プラスチックリサイクル効果推定に向けた排出実態把握の試み、トップダウンプロジェクト報告

広島大学東広島キャンパスならびにオンライン形式で第 39 回大学等環境安全協議会技術分科会が開催された。矢野順也准教授から京都大学のプラスチック廃棄物の排出実態調査把握とトップダウンプロジェクト概要について発表があった。また、特別講演は清水則雄准教授（広島大学総合博物館）から「オオサンショウウオがいるらしい～その現状と未来～」、北村義和氏（株式会社ダイセル）から「化学企業の安全管理の取り組み」の 2 件があった。そのほか、実務者連絡会企画プログラム

「大学等における化学物質管理システムの活用状況と今後の展望」など、大学の環境管理・安全衛生管理に関する発表等があり、参加者と意見交換を行った。



写真 第 39 回技術分科会会場の様子